


わたしたちが運ぶのは未来です



運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局
清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号
TEL 清水 <0543>52-4146(代)



御前崎港

「海の記念日」 港湾功労者を表彰

去る七月二十日、港湾会館清水市日の出センター(マリニビル)において、「第53回海の記念日」記念式典が盛大に開催されました。

記念式典は、午前十時に始まり、君が代斉唱の後主催者の挨拶及び来賓の方々の祝辞に引き続き海事功労者の表彰が行われ、第五港湾建設局長表彰関係の個人の部では、中村喜美夫氏(株式会社中村組取締役相談役)と古場邦人氏(株式会社古川組静岡支店取締役業務部長)のお二人に港湾功労者として尾崎正明清水港工事事務所長から表彰状が手渡されました。

同日名古屋港湾会館で行われた局長表彰の団体の部では、清水港興津岸壁^m(-10)(改良)鋼管杭補修工事で鈴与建設(株)と静和工業(株)が、下田港監督測量船建造工事で形原造船(株)、下田港防波堤F区工事で東洋建設(株)名古屋支店と河津建設(株)の建設工事共同企業体が優良工事として受賞されました。

なお、この七月二十日の海の記念日を国民の祝日「海の日」として制定しようという運動が海事関係団体等で構成する国民の祝日「海の日」制定推進国民会議を中心に展開されており、現在全国的規模で一千万人目標の署名運動が行われています。

▼下田港

新構造防波堤模型完成

近年、大水深海域における防波堤の建設が進みつつありますが、従来型の防波堤構造型式を用いる場合には堤体が著しく大型となり、消波ブロックや基礎石の所要量も増え建設費も増大してきます。

このため現在、本局並びに清水港工事事務所が一体となり、大水深に適した新構造防波堤として、消波ブロックをケーソン上に設置して防波堤の消波機能を付加する方式の「消波ブロック内蔵双胴型ケーソン」防波堤の開発に取り組んでいます。



消波ブロック内蔵双胴型ケーソン模型

新構造防波堤の諸元は次のとおりです。

- 構造 合成版式
- 長さ 二十二m
- 高さ 二十三・五m
- 幅 三十二m
- 重量 八六四八t(本体)

清水港工事事務所では、この新構造防波堤の「消波ブロック内蔵双胴型ケーソン」を模倣化致しました。

大きさはテトラポッドの關係から長さ七十cm、幅百七cm、高さ七十五cmで、実物の1/31・4に縮小したもので、全三十二室が見渡せるよう透明アクリル板を使用し、ハンチ、バラスト、中詰砂、水張り、テトラポッド、上部コンクリート、銅殻を表現し、合成版の一部も断面化しました。

PRを兼ねて清水港工事事務所の玄関に展示しています。(第二工事課)

静岡県のみなとシリーズ(五)

田子の浦港

▼富士市 現在の富士市は、昭和四十一年に吉原市、富士市、鷹岡町が合併して誕生した。

富士山、駿河湾、富士川などの自然に恵まれている。また、竹採塚は、かぐや姫で有名な「竹取物語」に関する伝承があり、資料も多く残っている。

産業は、富士山麓の豊かな森林資源と湧水により、明治の中頃から製紙工業が始められた。その後、国道一号線や東名高速道路が通ってからは、電気、自動車、機械などの産

業が発達した。今後は、ハイテク産業も伸びようとしている。



田子の浦港

▼沿革

駿河湾の最奥部にあり、沼川と潤井川の合流点に建設された「掘込式港湾」で、古くは「吉原湊」と呼ばれた。

港の整備は、昭和三十三年に第一期修築工事を着手、急勾配の海底と富士川から流れ出る年間十五万mの砂の影響を受ける漂砂海岸という、厳しい自然条件下で行われた。

現在では、最大利用船型一万トンD/Wクラスをはじめとする公共岸壁二十バース、専用岸壁二バースが整備され、県東部、さらには山梨県方面への配分基地となっている。平成三年度における主要貨物取扱量は、石油製品を中心に七百八十五万トンとなっている。これは清水港の一九二八万トンに次いで県下第二位である。

▼沼川石水門

吉原湊は、鎌倉時代から東海道の要地としてその役割を果たしてきた。江戸時代になり商業活動が盛んになると、商港としても機能していた。

しかし、湊口の地形的な悪条件により、高波がおし寄せらる度に湊口は塞がれ、田畑への水害が絶えなかった。この間幾度となく防潮堤が築かれたが、すべて高波により流失し、二百年来の水害に悩まされ続けた。明治三年沼川の河口に石水門を構築するため工事に取っかかりしたが、同五年の暴風雨で壊滅した。



石水門の碑 (富士と港の見える公園)

暫くは拱手傍観の体であった関係村々で再び再築の話が持ち上がり、第二次石水門の築造が始まったのは明治十六年であった。セメントが使用された今回の石水門は、長さ四十m、高さ六・四m、幅六・四mで、一年八ヶ月を要し明治十八年(一八八五)に完成

永年勤続表彰
おめでとうございます

*勤続三十年表彰者

第一工事課長 小山田宇孝

あつと言う間に三十年が過ぎた。その姿から「六ツ眼鏡」と呼ばれた。

昭和四十一年(一九六六)田子の浦港築港のために取り払われるまでの八十年間、沿岸の田畑を逆潮の被害から守りその役目を果たした。

▼万葉歌碑

万葉の歌人山部赤人が政府の役人として東国に赴く道すがら、田子の浦から望む富士の姿があまりにも美しいので詠んだ歌「田子の浦ゆうち出でて見れば・・・」は有名である。この歌を称えて、昭和六十一年「山部赤人歌碑」が富士埠頭に建てられた。(ウォーターフロント窓口)



山部赤人歌碑

ぎてしまいました。「職務に尽瘁し」には、ほど遠い私ですが、多くの方々から御指導を頂き、永年勤続三十年表彰を受賞することができました。有り難う御座いました。

下田工場長 和賀 晃

おかげ様で、このたび三十年表彰を受賞致しました。

これも偏に先輩諸氏をはじめ五建職員の皆様のお力添えによりなんとか無事勤め永年勤続表彰の榮譽を受けることができ心から感謝しております。今後とも五建のため誠心誠意努力致したいと思いますのでよろしくお願ひ致します。

庶務課主任 大村 良子

銀缶に酒を注ぎて過ぎゆきし三十年を語りふ夕餉
表彰式の静寂の中心沸く
「働き続けられし」よろこび
表彰を受けし友らと参詣す
熱田の森の新緑深し
亡き義父母に今日ある我を告げたれば遺影静かに笑みかけており

病院やれ保育所よ学校よ
そして職場へ過ぎし日頭ちくる

*勤続二十年表彰者

所長 尾崎 正明
気が付いたら二十年経って

いた・というのが率直な気持ちです。入省以来この間、東京、横浜、千葉、青森、大阪そして清水と大きな軌道で勤務をしてきましたが、多くの先輩、同僚らに支えられて各々の任地で有意義な仕事が出来たと感慨深いものがあります。特に二十年目の記念すべき勤務地である当地清水では多くの課題を抱えているもの、すばらしい人々に巡り会い大変充実感のある仕事をしていると自負しています。

今後とも、何事にも前向きで取り組むという自分の信念をもって仕事を進めたいとあらためて決意しています。



祝賀会鏡開 左から 大村、小山田、和賀、長瀬、堀井、所長

昭和四十八年に入省して、今年で勤続二十年を迎えることができました。

これらひとえに、今までの職場の皆さんの御指導の賜物であると共に、家族の協力のお

基地誕生のあゆみ

国土総合建設(株)静岡営業所長
(元清水港工事事務所 次長)
大塚 終平

かげであり、深く感謝致します。振り返ってみますと、この二十年間に、レコードからCDになり、職場においても算盤からOA化に進むなど、時代の流れには目を見張るものがあります。

今後、微力ではありますが頑張つてゆきたいと思えますのでよろしくお願い致します。

第二工事課 工事係長 長瀬和則

六月一日に永年勤続二十年表彰を頂き、月日のたつ早さに我ながら驚いています。

今日に至る迄、公私にわたり指導を頂いた上司の方々はじめ、職場の同僚の温かい理解と家族の協力で深く感謝を致しております。

私が入省した昭和四十八年当時と比べると職員の数も仕事の内容も確実に変化してきており、新しい時代の到来を痛感する最近です。

これからの二十年？は「余暇を生かす時代」に遅れないうような体もリフレッシュして行きたいと思えます。

寄稿

基地誕生のあゆみ

大塚 終平

作業基地の建設計画地域には、調査の結果、環境庁の指定植物が十三種類植生していることが確認されました。環境庁は、これらを総て移植せよ、と言うことなのです。しかし四種類については水際近くの岩に根を下ろしている草類で、しかも栄養分を海水から吸収しており、常識的には移植は絶対不可能と思われ、植生している岩ごと移動させる以外方法はないようです。

一方基地計画地に隣接した場所、当局以外にも工事の指示がないため総て埋め立てられており、このことを取上げ当局のみが工費をかけ移植する理由がないことを強く伝えたところ、岩場に植生しているものに限って移植しなくてもよいことになりました。

次の問題は、基地の目的完了後は基地全体に植樹し、寝姿山及び下田港周辺の道路より地表面が視認されないこと、と言うことでしたが、岸壁としての機能を発揮できなければ地域にとって何ら役立つ施設とはならないこと、役立たせるためには背後の一定用地確保は絶対に欠くことはできないこと、を三日間連続で説明しました。最終的には、岸壁機能を発揮させるために必要とする用地以外の土地に植

樹すること、妥協することとなりました。

次に最後の関門である「建設せず」を「建設する」に変更する理由は箱根事務所が環境本庁に説明する場合、十分に耐え得る内容でなければならず、従って箱根事務所が受理できる確かなものが要求されることは明らかであり、①証明できる事実関係のみとすること、②十人中、十人が同一解釈できる文章表現とすること、に心がけ受理されております。箱根事務所と接触して約二年、すがすがしい気分が山を降りることができました。

終わりに、変更理由の中で箱根事務所長さんが「うなずいていた部分」を紹介させていだきます。防波堤の建設目的は、国民生活に必要な物資を輸送する船舶を保護し、下田地域の人命、財産である自然を津波から守り、地域生活を豊かにし人々の心の豊かさ、物質的豊かさの礎となるものであり、下田港以外の地域で基地の新設が不可能になったことよって防波堤建設を中止することは国家的損失であり許されることではない。(おわり)

工場だより

下田工場

▼中学生の下田港内見学
五月二十一日に下田市立東中学校一年生の生徒約六十名を対象に港内見学を実施しました。

これは、当工場に監督測量船「しもだ」が配備された事に伴い、東中学校から乗船港内見学の依頼を受けたもので、地元への防波堤建設の理解を深めて頂く機会と考えました。

当日は、和賀工場長と金子工事係長が、防波堤の役割等に分り易く説明し、その後、四班に分かれ乗船しました。

天候にも恵まれ快適な港内見学ができ、生徒の皆さんにも喜んで頂けたと思います。

この度、東中学校から生徒の感想文が届きましたので、紹介させていただきます。

「監督測量船しもだに 乗せてもらって」

一年A組 高村まり子

昨日「監督測量船しもだ」に乗らせていただきどうもありがとうございました。

船に乗るのは、少ないので、とってもうれしかったです。船の上では、いろいろな説明をしてくれて、とてもわかりやすく覚えられました。海の上で仕事をするのは大変です。

「監督測量船しもだに
乗せてもらって」

一年A組 野田恭子

昨日は、監督測量船に乗せてもらってうれしかったです。新しかったので、とても乗りごちがよかったです。海の底が見える窓から、なにも見



乗船する東中学校生徒

か？私は、初めて「こんな所でも働いている人がいるんだなあ」と思い感心してしまいました。船の中にいろいろな機械があった、「こんな機械どんなことに使うのか分からない」というのもありましたが、乗員の人が、親切に教えてくれました。毎日毎日、何回も見回りをしているんですか？

船の上は楽しいですか？
これからは乗員の人に教えてもらったことを、家庭でも使えるように（いろいろな）にしたいです。

船の上は、寒いので、お体に気をつけて働いて下さい。

「監督測量船しもだに
乗せてもらって」

一年A組 山木真也

ぼくは、船に乗るのは二回目でした。でも測量船に乗るのは、初めてでした。資料をもらったとき、いろいろな工事をしているんだなあと思いました。工事には、いろいろな船や、道具を使っているんだなあと思いました。それに、たくさんのお金もかけているんだなあと思いました。

ぼくは、三班でした。船に乗るまでは、早く乗りたいなあと思っていました。そして、僕が乗るばんがまわってきました。船の中に入ってみると、すごく

きれいでした（いすや、船など）。船で海をまわっているとき、すでに工事をしていました。工事が始まると、その働く人たちは、やすみなく、働いているんだらうと思えました。そして、船での見学はおわかりました。

働くおじさんたち、これからもがんばって下さい。きょうは船に乗せてもらい、ありがとうございました。

「監督測量船しもだに
乗せてもらって」

一年A組 田中チエミ

昨日は、監督測量船に乗せてもらい、どうもありがとうございました。

私は、初めて下田の海を船で見てまわりました。ふく浦のいろいろな設備を見て、すごいと思いました。いつもは、なんとなく見ている所でも、説明してもらえたので、改めて、こんなふうになっている



船内での説明=和賀工場長

「Bay's」を発行

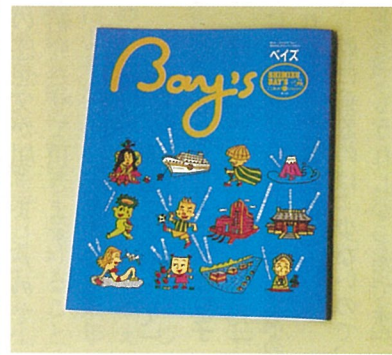
六月四日清水港工事事務所は、清水の港と街にかかわる情報誌「Bay's」Ⅱ写真Ⅱを発行した。

本誌は、清水港におけるイベント、レジャー、観光、史跡等を紹介、港湾を文化の面から見直し、これからの新しい港づくりに生かそうとするものである。

当初千部を印刷し、地元の有識者、学校、行政関係に配布したところ、大きな反響を

「管内の動き」

呼び、企業や個人からも問い合わせが相次ぎ、二千部を増刷した。問い合わせは、当事務所まで。



「管内の動き」

7月

4日 清水マリンフェスティバル

8日 真崎海水浴場海開き

9日 所長会議 「名古屋」

14日 清水港船舶航行安全対策調査委員会 「静岡」

14日 下田港新構造防波堤施工技術調査検討会 「静岡」

15日 御前崎港整備構想調査委員会 「静岡」

15日 運輸省・労働省静岡地方機関連絡会議

16日 独禁法説明会 「名古屋」

20日 海の記念日式典・訪船

31・1日 清水みなと祭り、総おとり

8月

3日 清水港港湾機関長会議

5日 下田港景観設計関連調査委員会 「下田」

んだと思えました。

その他にもたくさん知らなかったことがあったけど、おじさん達が分かりやすく、ていねいに教えて下さったのでとても勉強になりました。私達が乗せてもらった監督測量船は、まだ新しく、とても乗りごちがよかったです。

船の下の方には、ガラス窓のようなものがあってそこから海の水が見えました。私は、はじめて見たのです。すごいと思えました。

こんなにいい船に乗せてもらい、その上、海の設備なんかも見せていただきました。本当にありがとうございます。

（紙面の都合上掲載できなかつた作文については次号に掲載します。）